

## 3種類の市販 *Salmonella* Enteritidis 不活化ワクチンの採卵鶏における 室内試験および野外応用試験

村野多可子

Field and Experimental Trials of Three Commercial *Salmonella* Enteritidis Inactivated  
Vaccines for Laying Hens

Takako Murano

### 要 旨

国内で市販されている *Salmonella* Enteritidis (SE) 不活化油性アジュバントワクチン (SEOEV) 2 種類 (A、B) と、SE 不活化アルミニウムゲルアジュバントワクチン (SEKV) 1 種類 (C) の計 3 種類の SE 不活化ワクチンを用い、接種が鶏の生産性、抗体の産生性、産卵初期鶏の腸管における SE 定着軽減効果に及ぼす影響について検討した。

採卵鶏 2 銘柄を各々 200 羽供試し、各銘柄鶏を 50 羽ずつの 4 群に分け、SEOEV-A を 8、12 週齢に 2 回、SEOEV-B を 12 週齢に 1 回肩部皮下接種、SEKV-C を 12、16 週齢に 2 回脚部筋肉内に接種した。その後、36 週齢まで体重、飼料摂取量、産卵諸性能、抗体価を経時的に調査した。生産性に及ぼす悪影響は、2 銘柄とも SEOEV-A 群で最も顕著に認められた。抗体産生性は 2 銘柄とも SEOEV-A 群が良好な傾向を示した。

さらに SEOEV-A, B 最終接種後 3.5 カ月、SEKV-C 最終接種後 2.5 カ月になる 182 日齢鶏群 (試験 I) と 3 種類の SE ワクチンを最終接種日が同一となるように接種し、その 1 カ月後の 258 日齢鶏群 (試験 II) に、リファンピシン耐性 SE ZK-2 a 株を経口接種により攻撃した。その結果、盲腸内容物からの分離菌数は試験 I では SEOEV-A 群が、試験 II では SEOEV-A, B 群が無接種対照群より明らかに低い値を示した。臓器中からの分離菌数は、肝臓では試験 I、II とも SEOEV-A が、脾臓では試験 II において SEOEV-A, B が無接種対照群より明らかに低い値を示した。

以上の成績から SE 不活化ワクチン接種による副反応と盲腸における SE 定着軽減効果は相反する傾向がみられた。

(鶏病研究会報、第 39 巻、181 - 189、2003)